

21. 子宮がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容					
			開腹手術	腹腔鏡下手術 (腔式)		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野			
1	産婦人科	6	6	状況	○	○	○	○	×	×	外科的治療、化学療法や放射線治療を組み合わせた集学的治療を行っています。	ア	産婦人科			
				実績	あり	あり	あり	あり	なし	なし			イ			
2	放射線科	4	1	状況	×	×	×	○	×	×	頸がん、体がんに対する術後骨盤照射、頸がんに対する根治的放射線治療を施行しています。小線源治療が必要な場合、大阪労災病院放射線科と連携して治療を行っています。高精度照射により再発への治療も積極的に行っています。	ア	放射線科			
				実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし			イ			
3				状況								ア				
				実績								イ				
4				状況								ア				
				実績								イ				
5				状況								ア				
				実績								イ				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 子宮頸がん、子宮体がん
	子宮頸がん、子宮体がん